

平成26年度自己点検評価（項目別）

横浜国際福祉専門学校

1. 学校の教育目標

本校学則第1条に掲げる「社会福祉に関する専門知識並びに技術を習得させ、職業若しくは实际生活に必要な能力と一般教養の向上を図り、国際的視野を有する人材の育成を目的とする。」に基づき中長期的、また単年度計画の下、目標を定める。

2. 本年度に定めた重点的に取組み目標及び計画

- 1) 介護福祉学科及び公共職業訓練コースの指導体制の充実
- 2) 附帯事業の充実
- 3) 次年度にむけた附帯事業の準備
- 3) 地域の高齢者施設との連携を深める
- 4) 中長期的学校基盤の安定化

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1
・様々な世代また外国籍の者が学べる学校を目指した将来構想の構築	4	3	2	1
・学生や保護者との情報共有手段の構築	4	3	2	1

1) 改善点（課題）

- ・教育理念等周知方法及び情報共有手段の更なる改善が必要

2) 今後の改善方策

- ・入学前オリエンテーション不参加の学生・保護者に対して個別の対応を実施していく

3) 特記事項

- ・外国籍の方を受け入れる構築の整備ができた

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1
・中長期的視野に立って、時代のニーズに合わせた運営方針の修正	4	3	2	1
・ホームページの一層の充実	4	3	2	1

1) 改善点 (課題)

- ・時代のニーズを充分にとらえていない
- ・ホームページ内容の検討が必要

2) 今後の改善方策

- ・情報を収集、分析し、把握することが必要
- ・ホームページ上で当校の学生向けのページの作成

3) 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成一実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
一学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成一見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力・育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野事業者等と協働し、カリキュラムを一層充実させる	4	3	2	1
・外部関係者による評価体制の充実	4	3	2	1

1) 改善点 (課題)

- ・外部関係者の意見を踏まえてのカリキュラムの構築が不十分である

2) 今後の改善方策

- ・外部関係者との連絡、会議を定期的におこない、カリキュラムの内容を充実させる

3) 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1
・留年生に対する個別プログラムの作成	4	3	2	1
・卒業生との関係づくり（同窓会組織の検討）	4	3	2	1

1) 改善点（課題）

- ・留年生に対する指導体制の見直しが必要
- ・さらなる卒業生の活躍の把握を充実させる必要がある
- ・年々基礎学力不振の学生が目立ってきている。基礎学力向上にむけた指導体制をつくる必要がある

2) 今後の改善方策

- ・留年生に対して、勉強会等を実施し学力向上を図る
- ・基礎学力不振の学生に対しての指導体制を検討し、個別指導を充実させる

3) 特記事項

- ・SNSを活用し、卒業生との交流、情報収集を図る

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1
・課外活動の環境づくり	4	3	2	1
・社会人のニーズ調査取組等	4	3	2	1

1) 改善点（課題）

- ・課外活動（ボランティア）の参加を学生に促しているが、消極的な姿勢が多くみられる
- ・老朽化した物品の購入が十分にできていない
- ・社会人のニーズ調査が不十分である

2) 今後の改善方策

- ・クラスミーティングなどで担任から積極的に課外活動（ボランティア活動）を推奨していく
- ・予算化し優先順位をつけて老朽化した物品の購入を実施する
- ・SNS を活用し、調査を実施

3) 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1
・施設・設備の点検の強化、必要物品の購入	4	3	2	1
・防災訓練、災害時に備えての周知徹底	4	3	2	1

1) 改善点（課題）

- ・施設・設備の老朽化の改修がさらに必要

2) 今後の改善方策

- ・改修箇所を再確認し、優先順位をつけて実施する。

3) 特記事項

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・広報活動の強化	4	3	2	1
・学生募集時のきめ細かい説明	4	3	2	1

1) 改善点（課題）

- ・広報活動が、受験者数及び入学者につながっていない。

2) 今後の改善方策

- ・職種希望者減の原因を把握し、新たな取り組みを行う
- ・体験入学の内容の見直しを行う

3) 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

1) 改善点 (課題)

- ・更なる財政の安定が求められる

2) 今後の改善方策

- ・設置学科の定数の確保

3) 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
一法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
一個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1
・自己点検評価・学校関係者評価等の公表	4	3	2	1

1) 改善点 (課題)

2) 今後の改善方策

3) 特記事項

- ・個人情報の取扱い、法令順守の徹底を常に行う

(10) 社会貢献・地域振興

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1
・ボランティアの魅力を伝えていく	4	3	2	1

1) 改善点(課題)

- ・ボランティア活動を推奨しているが、消極的な姿勢が見られる。

2) 今後の改善方策

- ・クラス担任を通して、ボランティア活動の魅力を伝えていく
- ・更にSNSを活用し、附帯教育事業を案内していく

3) 特記事項

- ・地域の中学校で実施している福祉教育に貢献することができている。

(11) 国際交流(必要に応じて)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・留学生等の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
・留学生等の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
・留学生等の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・学習成果が学校内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

注) 留学生等：外国からの直接留学生に限らず、国内で学習する外国人

1) 改善点(課題)

- ・日本語学校卒業後の留学生の受け入れ体制及び学習面でのサポートの構築

2) 今後の改善方策

- ・校内で会議をひらき、各部門についての支援体制を整備する

3) 特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

国内はもとより近隣諸国を視野に入れた中期的事業計画に基づき、平成26年度は以下の事業を展開。一部を除き、当初の目標成果を収めることができたが、更なる改善及び継続的に実施していく必要がある。

事業計画に関する評価は以下の通りである。

ア 国内介護福祉士養成事業としては、介護福祉学科及び公共職業訓練コースは、例年通り各1クラス体制で開講し順調に進んでいる。

イ 以下の附帯教育事業を計画通り、実施し、所望の成果を得た。

(1) 社会福祉士短期養成科 (2) 適応自立支援コース (3) 介護福祉士実務者研修(通信課程) (4) 介護技術講習会 (5) 即戦力3か月コース(介護職員初任者研修:3コース) (6) 介護福祉士実習指導者講習会 (7) 介護福祉士国家試験受験対策講座 (8) 知的障がい者向け介護技術講習 (9) E P A介護福祉士国家試験対策(民間施設・横浜市・神奈川県からの委託事業)

ウ 次年度に向けた準備事項

法改正を見据え、介護福祉士実務者研修(通信課程)の修業期間、定員等の変更の準備に着手。

エ 地域の高齢者施設からの委託事業

介護技術、ビジネスマナー等を含めた受託事業(職員研修)を展開し、所期の成果を得ることができた。

オ 継続事項

(1) 公的・民間の公募・委託事業に関する情報について収集、募集に参加。
(2) 昨年度より取り組んでいる「介護技術」に関する教材の完成を目指す。